

# Welcome to the passion people

techtip 2, May 2012

## オイルラインカット時の簡易エア抜き方法

作業するブレーキのマスターシリンダーを下の画像のように45度上向きにします。



注意:使用する注射器に、下記の準備を行います。



注射器の30mmの目盛りの位置に、2mmの穴をドリルで開けます。



その注射器に、20mlのマグロイヤルブラッドを吸い入れた後、5mlのエアを吸い入れます。  
(ピストンは25mlの目盛りの位置になります。)



**MAGURA**

キャリパーからパッドを取り外し、トランスポートデバイスをピストンにはさんでおきます。



EBTスクリューを、T25トルクスレンチで取り外し、注射器の先端をしっかりと差し込みます。



注射器をしっかりと押さえながら、ピストンを30mmの目盛りの穴のすぐ下まで引いた後、マスター側に押し込みます。これを3・4回繰り返します。

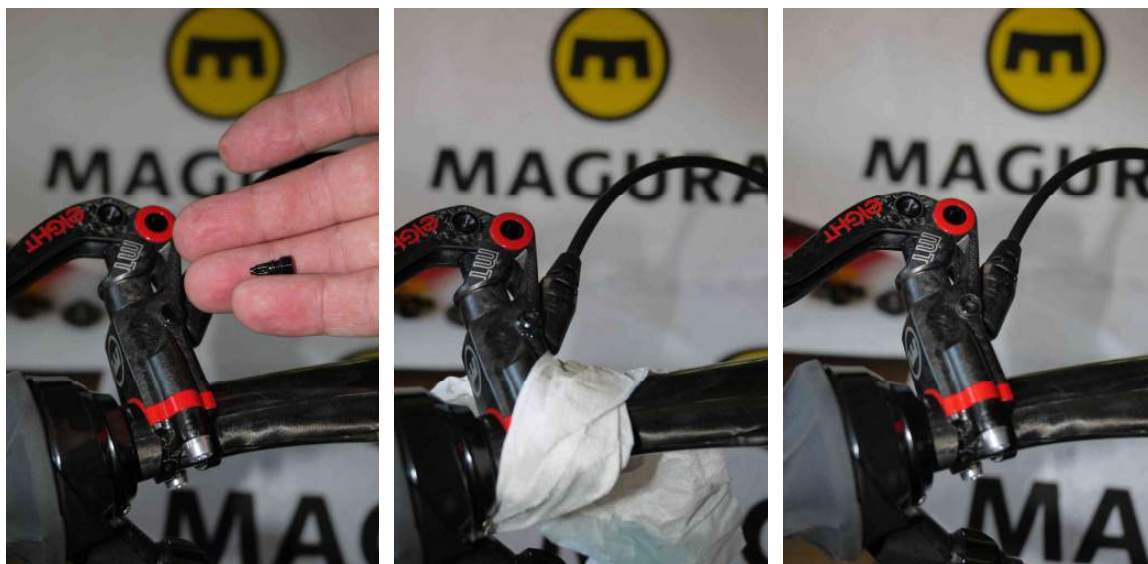


気泡が出なくなったら、ピストンを30mmの目盛りの穴の上まで引きます。この時、マスターシリンダーにかかっていた圧力が抜けます。

穴を指で押さえながら、注射器を取り外します。



**MAGURA**



マスターのエア抜き穴をマグロイヤルブラッドで満たし、EBTスクリューを規定トルクで締め込みます。  
最大トルク 0.5Nm

#### ブレーキタッチの確認

オイルラインをカットした後や、バンジョーの角度を変更した後は、ブレーキレバーを数回握って、オイル漏れが無い、タッチに変化が無いを確認して下さい。



それらに変化があった場合は、エア抜きの作業を行って下さい。



**MAGURA**